平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会

第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体

平成20年7月30日(水)　　二回戦

Gコート　第3試合　　本庄総合公園体育館 (シルクドーム)

チームA			チームB
明成 宮 城	70	15 − 16 9 − 28 28 − 13 18 − 20 −	77	常葉学園 静 岡

明成

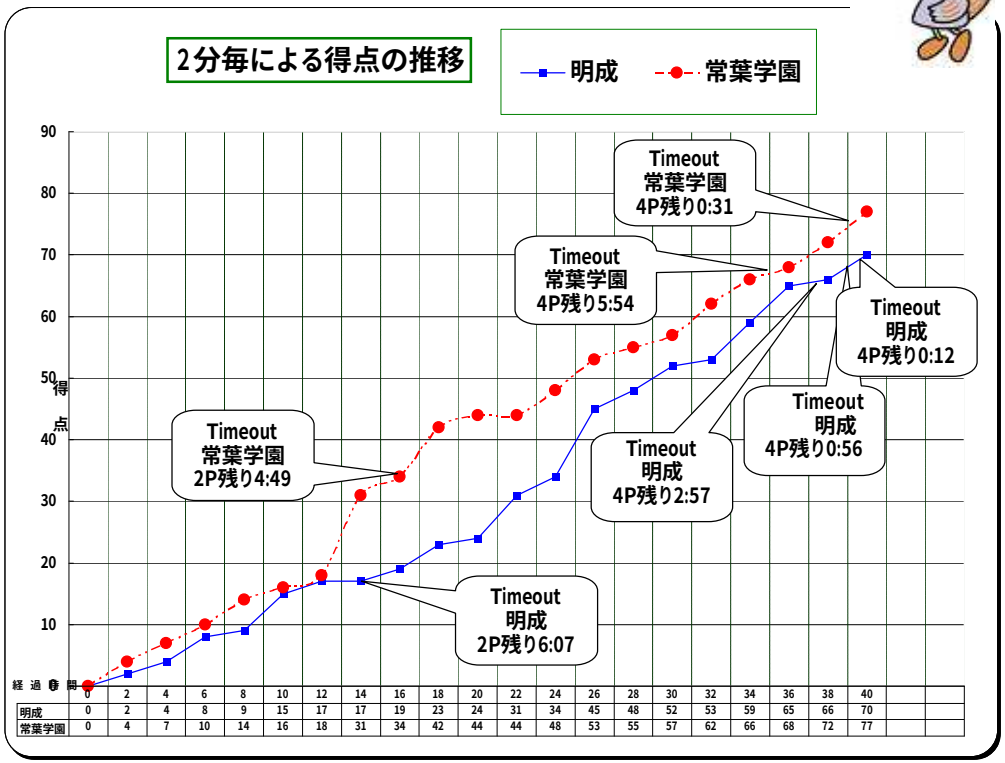
番号	氏名	出場	得点	3P 成功	3P 試行	2P 成功	2P 試行	FT 成功	FT 試行	反則	リバウンド OF	リバウンド DF	TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
4	小泉愛莉	X	10	2	5	2	5	0	1	3	1	9	5	0	6	0	40
5	渋谷実菜子	X	19	0	2	7	12	5	10	2	1	4	7	1	3	0	40
6	邉見優香	X	3	0	0	1	5	1	2	2	0	5	5	2	8	0	40
7	陶雪幟	X	33	0	0	12	25	9	13	4	6	12	6	1	1	2	32
8	佐藤彩香	X	5	1	2	1	1	0	0	1	2	2	2	5	3	1	40
9	長濱友里		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10	齋藤亜美		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11	小林奈央		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12	日退菜波		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	木村有沙		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
14	羽川茜		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
15	韓雨濛	／	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
コーチ	安達美紀									1	1	3	1				
			70	3	9	23	48	15	26	13	11	35	25	9	21	3	200
			確率	33.3%		47.9%		57.7%			計	46					

出場:×は先発、／は出場

常葉学園

番号	氏名	出場	得点	3P 成功	3P 試行	2P 成功	2P 試行	FT 成功	FT 試行	反則	リバウンド OF	リバウンド DF	TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
4	風間緑	X	13	1	8	4	7	2	4	2	1	5	4	5	4	1	40
5	西野いずみ	X	33	5	12	9	18	0	1	3	5	7	4	7	5	0	40
6	松村圭織	／	2	0	1	1	5	0	0	3	1	2	1	2	0	1	14
7	りゅう虹	X	7	0	8	3	8	1	2	4	1	2	3	1	0	0	24
8	小杉あずさ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
9	小林理央		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10	本目紗和子		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
11	坂元美沙季	X	9	1	3	2	4	2	4	5	3	0	4	2	1	0	22
12	入澤唯加		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13	佐野あすか	X	7	1	2	2	5	0	0	2	7	6	0	1	7	0	40
14	錦織静花	／	6	0	0	3	6	0	0	5	4	2	0	3	2	1	20
15	原佑理子		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
コーチ	小前宏史									0	0	4					
			77	8	34	24	53	5	11	24	22	28	16	21	19	3	200
			確率	23.5%		45.3%		45.5%			計	50					

出場:×は先発、／は出場



経過時間	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40
明成	0	2	4	8	9	15	17	17	19	23	24	31	34	45	48	52	53	59	65	66	70
常葉学園	0	4	7	10	14	16	18	31	34	42	44	44	48	53	55	57	62	66	68	72	77

戦評

大会最長身＃７陶を擁し東北大会を制した明成と、全中を経験した３年生が１・２年生を引っ張り２回戦に勝ち上がった常葉学園の対戦。両チーム、ハーフコートマンツーマンで試合開始。

第１P、高さで上回る明成はインサイドにボールを集めようとするが、常葉学園の執拗なディフェンスに苦しむ。常葉学園はリバウンド、ルーズボールに頑張り一進一退の攻防。残り５分、明成＃７陶は３つ目のファウルでベンチへ。常葉学園は＃４風間、＃５西野で得点。明成は＃５渋谷のフリースローで追う。１５対１６で常葉学園がリードして終了。

第２P、常葉学園は厳しいディフェンスからボールを奪い、＃５西野が連続得点し、一気に明成を引き離す。残り６分明成タイムアウト後、＃７陶をコートに戻すが常葉学園の勢いを止められず２４対４４とリードを広げる。

第３P、１－２－２ゾーンプレスに変化した明成のディフェンスに常葉学園はオフェンスのリズムを作れない。その間に明成はゴール下の＃７陶に徹底してボールを集めこのピリオドで１９点をあげ徐々に点差を詰めていく。常葉学園も速攻を出すが流れをつかめず５２対５７、常葉学園リードで最終ピリオドへ。

第４P、常葉学園はポストでのファウルが重なり２人が続けてファウルアウト。明成は＃８佐藤のリバウンドシュートや＃４小泉の３Pで追い上げるが、常葉学園も速攻を決め、簡単には流れは渡さない。残り４０秒、明成＃４小泉のドライブインで３点差。しかし常葉学園は＃４風間から＃７りゅうへのアシストパスが決まり、突き放す。緊迫した試合は７０対７７で第３シードの明成を破り常葉学園が勝利した。

主審	須黒 祥子	副審	嶋田 博昭	戦評	若田 博 (埼玉県高体連)

3P：スリーポイントシュート、2P：2ポイントシュート、FT：フリースロー、OF：オフェンス、DF：ディフェンス、TO：ターンオーバー、ST：スティール、AS：アシスト、BS：ブロックショット